

# 平成29年度 学力向上アクションプラン

A票

尼崎市立成徳小 学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題
<p>○全国調査結果からの課題 (1)各教科(全国平均を下回っている) ・国語…漢字、ローマ字の理解、推敲などの文章力 ・算数…小数や分数の四則演算、図形の位置関係、数学的な説明力 (2)質問紙調査 「授業が分かる」と答える児童の割合は、前年度とほぼ変わらず63%である。このことからさらに家庭との連携を進め、学習規律を確立し、家庭学習の習慣化、定着化を図ることが課題である。</p>

課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)		
授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組
<p>・奈良教育大学附属小学校の先生を講師として招聘し、協働的な学びの創造を推進する【(1)アクティブラーニング講師招聘を活用】 ・思考力・判断力・表現力・主体性を育成する授業づくり【(1)アクティブラーニング講師招聘を活用】 ・低学年や中学年で同室複数指導を行う中で問題解決型、探究型の授業研究を進める【(3)授業補助支援員を活用】</p>	<p>・学習規律の確立、家庭学習の習慣化、定着を図り、学習意欲を高める。 ・毎週1回の放課後学習や夏季休業中におけるサマースクール等を実施する中で、基礎学力を身につけさせる。【(4)放課後学習支援を活用】 ・放課後学習で使うプリントや振り返りノート等を作成し、学力の定着を図る【(5)学力定着支援を活用】 ・朝の読書の時間を確保し、落ち着いた雰囲気の中で読書をする。 ・午後の授業の前に計算タイムを設け、計算力を高める。</p>	<p>・若手教師の会を組織し、時期に応じた研修会・授業実践を行い、若手教員の指導力・授業力の向上を図る。 ・ICT機器を活用した授業を進める。</p>

本年度の具体的な目標
<p>○全国学力学習状況調査 (1)学力調査 ・平均正答率(全国平均±0ポイント以上) (2)質問紙調査 ・家庭学習の時間30分以上(90%以上) ○児童アンケート ・勉強はわかる(80%以上) ○保護者アンケート ・宿題・学習準備(90%以上)</p>

校種間連携
<p>・小学校から中学校へ円滑な接続を図るために本校児童と、大庄中学校生徒会との交流を図る。また大庄中学校のクラブの見学を行う。 ・小、中学校職員による教科指導を含めた合同研修会を行う。</p>

活用する支援内容	
支援内容	具体的内容
(1)アクティブラーニング推進支援	<p>・協働的な学びの創造(奈良教育大学附属小学校 教諭 井上龍一氏 6回) ・思考力・判断力・表現力の育成</p>
(2)授業補助支援	<p>・低、中学年の協働的な学習において担任と嘱託員による同室複数指導を効果的に行う</p>
(3)放課後等学習支援	<p>・放課後学習(1～6年) 25回(2h×週) ・夏季休業期間(1～6年) 7回(3h)</p>
(4)学力定着支援	<p>・振り返りノートの作成 ・学習支援に係る用紙・インク代</p>

家庭・地域との連携
<p>・開かれた参観日で、成徳小学校内の自然について「フィールドワーク」を地域に広げて行う。 ・「家庭学習の記録」の活用による学習習慣の定着。 ・「家読」を実施し読書力を向上させる。 ・学力調査結果を公表する。 ・学校行事の様子や学校便り、学力向上アクションプラン等を学校ホームページに掲載することで、学校の取組を家庭や地域に広く知らせる。</p>